

今夏の「熱中症警戒アラート（試行）」 の活用状況

令和2年10月19日

熱中症警戒アラート（試行）の周知等の状況

関係省庁からの周知

- 事務連絡を通じた関係団体への周知（消防庁、文部科学省、スポーツ庁、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省）
- アプリ・SNSを通じた周知（文部科学省LINEアカウント「子供の学び応援」、農林水産省MAFFアプリ、観光庁Safety tips、環境省LINEアカウント）

自治体等からの周知の例

自治体：

- 防災メールでのお知らせ（東京都足立区・千代田区、埼玉県熊谷市、神奈川県横浜市、等）
- 防災行政無線での呼びかけ（埼玉県熊谷市、千葉県船橋市、等）
- 自治体公式アプリでの呼びかけ（埼玉県、千葉県船橋市、等）
- 自治体ホームページや広報誌を通じた事前の周知（多数）

教育委員会・学校：

- アラート発表の際の対応の検討について、各学校へ依頼（神奈川県教育委員会等）

民間企業：

- 渋谷・原宿の大型モニターでアラート発表の情報を放映
- 日傘レンタルサービス（アイカサ）が、アラート発表日の傘のレンタルを無料に



環境省LINE公式アカウント開設によるアラート配信



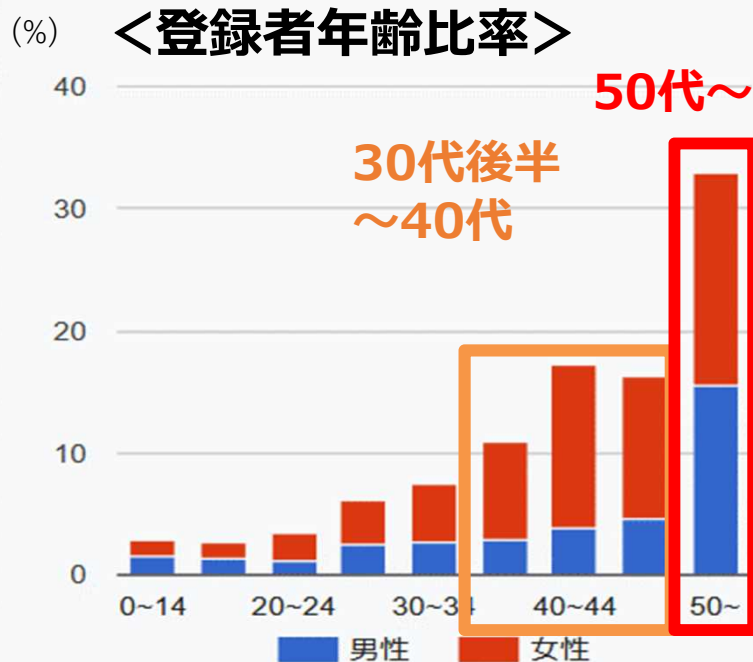
- 熱中症警戒アラート（試行）が発表された際に、環境省公式LINEアカウントからお知らせの通知が配信されるサービス（前日18時頃、当日7時頃）。
- お知らせ通知の受け取り以外にも、メニュー画面から熱中症対策に関する情報が閲覧できる。



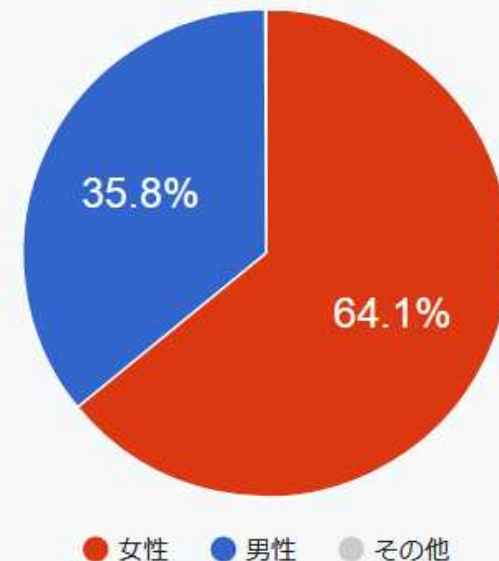
登録者は

約62,800人

（本年7月31日開設、
10月16日（金）現在）

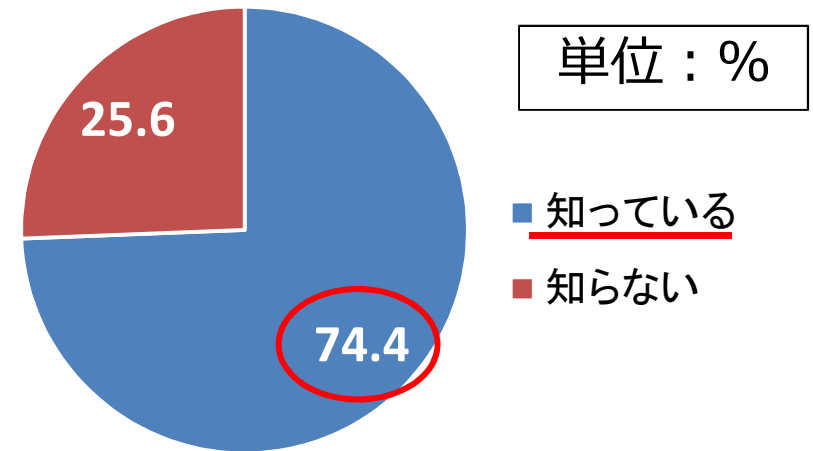


＜登録者男女比率＞

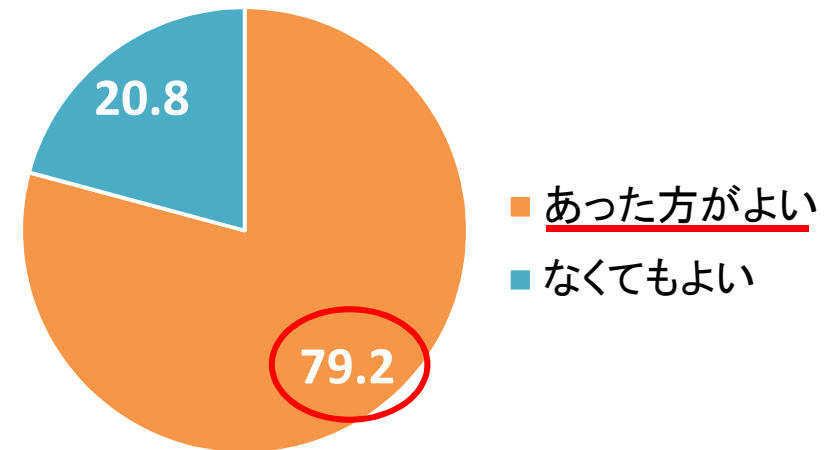


熱中症警戒アラート（試行）の認知度（アンケート結果の速報）

問：
今年7月から、熱中症の危険性が極めて高い暑さが予測される際に「**熱中症警戒アラート**」が発表されることになりました。
このことをご存知ですか。



問：
熱中症の危険性が極めて高い暑さが予測される際に、「**熱中症警戒アラート**」などによる呼びかけは、今後もあった方がよいと思えますか。



実施方法

方 法：Webアンケート

実施時期：①令和2年8月14日～8月18日、②9月14日～9月23日 の計2回

対 象：関東甲信（1都8県）にお住まいの一般男女、各都県170～180人ずつ

回 答 数：①1592人（男性782・女性810／15～22歳512・23～64歳540・65～89歳540）

②1590人（男性781・女性809／15～22歳510・23～64歳540・65～89歳540）